

## 「医用・生体工学関連技術」特集 Medical and Biological Engineering

ポストコロナ時代、ICT や IoT の発展は医用・生体工学に新たな価値をもたらし、医療から社会全般への幅広い応用が求められています。COVID-19 を契機に生まれた技術革新や人工知能の活用は、感染症対策や遠隔医療、健康データ解析だけでなく、多様な分野での課題解決を加速させています。高齢化や情報化社会がもたらす複雑な課題に対応するため、異分野融合や分野横断的な視点が不可欠となります。本特集では、医療、福祉、健康、産業など多様な分野での応用を見据えた研究を幅広く募集し、医用・生体工学が築く新たな社会基盤の可能性を探ります。そこで、論文誌C（電子・情報・システム部門誌）では、2026年5月号に「医用・生体工学関連技術」特集号を企画します。

本特集では、医用・生体工学関連技術の基礎から応用領域までを含む論文を幅広く募集します。下記のキーワードを参考に、奮ってのご投稿をお待ちしています。なお、本特集の掲載に間に合う採録(判定A)の期限は、掲載号の3ヶ月前の月の10日頃(2026年2月10日頃)までとなります。査読の関係や投稿件数などの都合で特集号に掲載できない論文は、一般論文として取り扱われますので、あらかじめご了承ください。

**キーワード:** 1 生体・医用・福祉工学, 2 生体・神経信号の計測・解析, 3 診断・治療技術および医用情報システム, 4 次世代インターフェース技術 (ヒューマン・マシン・インターフェース, ブレイン・マシン・インターフェース, ウェアラブルデバイス, 神経デバイス), 5 デジタルヘルスケアと遠隔医療, 6 健康維持・予防医療技術, 7 リハビリテーション技術におけるロボット工学, 8 医療・福祉ロボット, 9 倫理・社会的影響

**投稿締切:** 2025年7月28日(月)

詳細は、電気学会の論文投稿手続きに従って下さい。「締切厳守」でお願い申し上げます。

<http://www.iee.jp/pub/post/> から原稿作成の手引きをダウンロードできます。

**投稿方法:** 投稿は電子投稿・査読システムで受け付けます。

<https://submit.iee.or.jp/main/cgi/sstk-top.cgi> からご投稿下さい。電子投稿・査読システムの「論文・資料・研究開発レターの投稿」画面において「論文誌C」を選択し、次に原稿種別(論文/資料/研究開発レターのどれか)を選択した後、「原稿投稿」画面において「医用・生体工学関連技術」特集を選択して下さい。電子メールを用いた投稿、郵送での投稿は受け付けられませんのでご注意ください。

**ゲストエディタ/問合せ先**

杉浦 明弘

岐阜医療科学大学

保健科学部 放射線技術学科

〒501-3892 岐阜県関市市平賀字長峰 795-1

E-mail: [asugiura\(at\)u-gifu-ms.ac.jp](mailto:asugiura@u-gifu-ms.ac.jp)

※(at) は @ に置き換えて送信して下さい。

前田 嘉一

福井県立病院陽子線がん治療センター

陽子線治療研究所

〒910-8526 福井県福井市四ツ井 2-8-1

E-mail: [yomaeda\(at\)g.u-fukui.ac.jp](mailto:yomaeda@u-gifu.ac.jp)

**企画協力:** 医用・生体工学技術委員会